

川内原子力発電所

第1号機

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
放射性物質格納機能 (続き)	第57条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3及び4	・2系統が動作可能であること ・よう素除去薬品タンクの苛性ソーダ濃度が30wt%以上、苛性ソーダ溶液量(有効水量)が11.1m ³ 以上あること	・原子炉格納容器スプレイ系 ・よう素除去薬品タンク	○	○										○		○	○	
	第58条 アニュラス空気浄化系	モード3及び4	・2系統が動作可能であること	・アニュラス空気浄化系	○	○										○		○	○	
	第59条 アニュラス	モード3及び4	・アニュラスの機能が健全であること	・アニュラス	○	○										○		○	○	
	第61条 主蒸気隔離弁	モード3	・閉止可能であること	・主蒸気隔離弁	○															○
	第62条 主給水隔離弁、主給水制御弁及び主給水バイパス制御弁	モード3	・閉止可能であること	・主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水バイパス制御弁	○															○
	第80条 原子炉キャビティ水位	モード6 (キャビティ高水位)	・原子炉キャビティ水位: EL+12.70m 以上であること	・1次冷却材系 ・原子炉キャビティ							△		△							
	第81条 原子炉格納容器貫通部	モード5及び6	・機器ハッチが全ボルトで閉じられていること ・各原子炉格納容器エアロックが1つ以上のドアで閉止可能であること ・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること、隔離弁以外については閉止フランジ又は同等なものによって閉じられていること	・機器ハッチ ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁 ・原子炉格納容器バウンダリ			○	△	△	△			△	△	△	○		○		
第82条 使用済燃料ピットの水位及び水温	モード3、4、5、6及びモード外	・使用済燃料ピット水位: EL+12.70m 以上であること ・使用済燃料ピット水温: 65℃以下であること	・使用済燃料ピット ・使用済燃料ピット冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
崩壊熱除去機能	第36条 1次冷却系	モード3	・制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中であること ・制御棒の引抜き操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること	・蒸気発生器 ・1次冷却系 ・1次冷却材ポンプ	○														○	
	第37条 1次冷却系	モード4	・余熱除去系又は蒸気発生器による熱除去系のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること	・余熱除去系 ・蒸気発生器 ・1次冷却系 ・1次冷却材ポンプ		○										○		○		
	第38条 1次冷却系	モード5 (1次冷却系満水)	・余熱除去系1系統が運転中であること ・他の余熱除去系が動作可能又は運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位(狭域)が計器スパンの5%以上であること	・余熱除去系 ・蒸気発生器 ・1次冷却系			○								○		○			
	第39条 1次冷却系	モード5 (1次冷却系非満水)	・余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること	・余熱除去系 ・1次冷却系				○							○					

主要工程																					
RCS 水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
崩壊熱除去機能 (続き)	第40条 1次冷却系	モード6 (キャビティ高水位)	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去系1系統以上が運転中であること 1次冷却材温度が65℃以下であること 	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去系 1次冷却系 						○		○									
	第41条 1次冷却系	モード6 (キャビティ低水位)	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること 1次冷却材温度が65℃以下であること 	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去系 1次冷却系 					○				○								
	第60条 主蒸気安全弁	モード3 (原子炉起動時のモード3から、主蒸気安全弁機能検査が完了するまでの間を除く)	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器ごとに下記の個数以上が動作可能であること 原子炉熱出力80%超:7個 原子炉熱出力70%超で、かつ80%以下:6個 原子炉熱出力55%超で、かつ70%以下:5個 原子炉熱出力40%超で、かつ55%以下:4個 原子炉熱出力25%超で、かつ40%以下:3個 原子炉熱出力25%以下:2個 	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気安全弁 	○															△	
	第63条 主蒸気逃がし弁	モード3及び4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 手動での開弁ができること 	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気逃がし弁 	○	△											△		△	○	
	第64条 補助給水系	モード3 モード4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 電動補助給水ポンプによる2系統及びタービン動補助給水ポンプによる1系統が動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 補助給水系 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 	○															○	
			<ul style="list-style-type: none"> 電動補助給水ポンプによる1系統以上が動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 補助給水系 電動補助給水ポンプ 		△											△		△		
	第65条 復水タンク	モード3及び4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 復水タンク水量(有効水量)が520m³以上であること 	<ul style="list-style-type: none"> 復水タンク 	○	△											△		△	○	
炉心冷却機能	第33条 計測及び制御設備 (工学的安全施設等作動計装)	モード3及び4	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系作動論理回路:2系統 (非常用炉心冷却系) 手動起動:2チャンネル 格納容器スプレイ系作動論理回路:2系統 (格納容器スプレイ系) 手動起動:4チャンネル 格納容器隔離A作動論理回路:2系統 (格納容器隔離A) 手動起動:2チャンネル (格納容器隔離A) 格納容器スプレイ手動起動:4チャンネル (格納容器隔離A) 非常用炉心冷却系作動 	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系作動計装 格納容器スプレイ系作動計装 格納容器隔離A作動計装 格納容器隔離B作動計装 格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低による隔離作動計装 	○	○										○		○	○		

主要工程																																				
RCS 水位																																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	<table border="1"> <tr> <th>運転モード</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5-1</th> <th>5-2</th> <th>6-1</th> <th>6-2</th> <th>モード外</th> <th>6-2</th> <th>6-1</th> <th>5-2</th> <th>5-1</th> <th>4</th> <th>5-1</th> <th>4</th> <th>3</th> </tr> </table>																運転モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
運転モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3																					
炉心冷却機能 (続き)	第33条 計測及び制御設備 (工学的安全施設 等作動計装)	モード3及び4 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器隔離B作動論理回路：2系統 (格納容器隔離B) 手動起動：格納容器スプレイ系手動起動：4チャンネル 格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低による隔離作動論理回路：2系統 (格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低による隔離信号) 格納容器隔離A作動 (格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低による隔離信号) 6.6kV非常用母線電圧低：1母線当たり3チャンネル 格納容器換気系隔離作動論理回路：2系統 (格納容器換気系隔離) 格納容器スプレイ系手動起動：4チャンネル (格納容器換気系隔離) 格納容器隔離A手動起動：2チャンネル (格納容器換気系隔離) 非常用炉心冷却系作動 (給水隔離) 非常用炉心冷却系作動 	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器換気系隔離作動計装 左記信号検出、伝送ライン 	○	○									○		○	○																		
		モード3	<ul style="list-style-type: none"> (非常用炉心冷却系) 格納容器圧力高：4チャンネル (非常用炉心冷却系) 主蒸気ライン差圧高：各主蒸気ラインごとに4チャンネル (格納容器スプレイ系) 格納容器圧力異常高：4チャンネル (格納容器隔離B) 格納容器圧力異常高：4チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 	○													○																		
		モード3 (P-11 (加圧器圧力) インターロック以上)	<ul style="list-style-type: none"> (非常用炉心冷却系) 原子炉圧力低：4チャンネル (非常用炉心冷却系) 加圧器水位低：4チャンネル (インターロック) P-11 (加圧器圧力)：4チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 	△														△																	
		モード3 (全主蒸気隔離弁が閉じている場合は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気ライン隔離作動論理回路：2系統 (主蒸気ライン隔離) 手動起動：2チャンネル (主蒸気ライン隔離) 格納容器圧力異常高：4チャンネル (主蒸気ライン隔離) 主蒸気流量高：各主蒸気ラインごとに2チャンネル (主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸気ラインごとに4チャンネル (主蒸気ライン隔離) 1次冷却材平均温度異常低：4チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気ライン隔離作動計装 左記信号検出、伝送ライン 	△														△																	

主要工程																						
RCS水位																						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																	
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3				
炉心冷却機能 (続き)	第33条 計測及び制御設備 (工学的な安全施設 等作動計装) (続き)	モード3 (P-12 (1次冷却材平均温度) インターロックを超える場合)	<ul style="list-style-type: none"> (非常用炉心冷却系) 主蒸気流量高: 各主蒸気ラインごとに2チャンネル (非常用炉心冷却系) 主蒸気ライン圧力低: 各主蒸気ラインごとに4チャンネル (非常用炉心冷却系) 1次冷却材平均温度異常低: 4チャンネル (インターロック) P-12 (1次冷却材平均温度): 4チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 	△														△			
		モード3 (主給水隔離弁、主給水制御弁及び主給水バイパス制御弁が閉止又は隔離されている場合は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 給水隔離作動論理回路: 2系統 (給水隔離) 蒸気発生器水位異常高: 1基当たり4チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 給水隔離作動計装 左記信号検出、伝送ライン 	△															△		
		モード3 (主給水制御弁が閉止又は隔離されている場合は除く)	<ul style="list-style-type: none"> (給水隔離) 1次冷却材平均温度低: 4チャンネル (給水隔離) 原子炉トリップ作動 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 	△																△	
	第33条 計測及び制御設備 (事故時監視計装)	モード3	事故時監視計装 <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材圧力 (広域): 2チャンネル 加圧器水位: 2チャンネル 1次冷却材温度 (広域) (高温側): 3チャンネル 1次冷却材温度 (広域) (低温側): 3チャンネル ほう酸タンク水位: 4チャンネル 主蒸気ライン圧力: 各ライン2チャンネル 復水タンク水位: 2チャンネル 蒸気発生器水位 (広域): 3チャンネル 蒸気発生器水位 (狭域): 各SG2チャンネル 補助給水流量: 3チャンネル 燃料取替用水タンク水位: 2チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (広域): 2チャンネル 格納容器再循環サンプ水位 (狭域): 2チャンネル 格納容器圧力: 2チャンネル 格納容器内温度: 2チャンネル 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ): 2チャンネル 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ): 2チャンネル 原子炉補機冷却水サージタンク水位: 2チャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> 左記事故時監視計装 	○																○	

主要工程																							
RCS 水位		キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード 3 4 5-1 5-2 6-1 6-2 モード外 6-2 6-1 5-2 5-1 4 5-1 4 3																		
炉心冷却機能 (続き)	第33条 計測及び制御設備 (事故時監視計装) (続き)	モード3 (続き)	・制御用空気圧力：2チャンネル ・高圧安全注入流量：4チャンネル ・低圧安全注入流量：4チャンネル	・左記事故時監視計装	○																○		
	第50条 蓄圧タンク	モード3 (1次 冷却材圧力が 6.89MPa[gage] を超える場合)	・蓄圧タンクほう素濃度：2,700ppm 以上 ・蓄圧タンクほう酸水量(有効水量)：29.0m ³ 以上 ・蓄圧タンク圧力：4.04MPa[gage]以上 ・蓄圧タンク出口隔離弁が全開であること ・蓄圧タンク出口隔離弁が閉止可能である こと	・蓄圧タンク ・蓄圧タンク出口隔離 弁	△																△		
	第51条 非常用炉心冷却系	モード3	・高圧注入系の2系統が動作可能であるこ と ・低圧注入系の2系統が動作可能であるこ と	・高圧注入系 ・低圧注入系	○																	○	
	第52条 非常用炉心冷却系	モード4	・高圧注入系又は充てん系1系統以上が動 作可能であること ・低圧注入系1系統以上が動作可能である こと	・高圧注入系 ・充てん系 ・低圧注入系		○											○				○		
	第53条 燃料取替用水タン ク	モード3及び4	・燃料取替用水タンクほう素濃度：2,700ppm 以上 ・燃料取替用水タンクほう酸水量 (有効水 量)：1,600m ³ 以上	・燃料取替用水タンク		○	○										○				○	○	
	第54条 ほう酸注入タンク	モード3	・ほう酸注入タンクほう素濃度：20,000 ppm 以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水量 (有効水 量)：3.41m ³ 以上 ・ほう酸注入タンクほう酸水温度：65℃以 上	・ほう酸注入タンク		○																	○
電源供給	第33条 計測及び制御設備 (ディーゼル発電機 起動計装)	モード3及び4	・ディーゼル発電機起動論理回路：2系統 ・(ディーゼル発電機起動)非常用炉心冷却 系作動	・ディーゼル発電機起 動計装 ・左記信号検出、伝送 ライン	○	○														○		○	
		モード5、6及 び照射済燃料移 動中	・ディーゼル発電機起動論理回路：1系統	・ディーゼル発電機起 動計装 ・左記信号検出、伝送 ライン				○	○	○	○	△	○	○	○	○			○				
		モード3、4、 5、6及び照射 済燃料移動中	・(ディーゼル発電機起動)6.6kV 非常用母 線電圧低：所要の母線当たり3チャンネル	・左記信号検出、伝送 ライン	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第71条 外部電源	モード3、4、 5、6及び使用 済燃料ピットに 燃料体を貯蔵し ている期間	・3回線以上が動作可能であること ・上記の外部電源のうち、1回線以上は他 の回線に対して独立性を有していること	・外部電源 ・予備変圧器	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第72条 ディーゼル発電機	モード3及び4	・ディーゼル発電機2基が動作可能である こと ・燃料油サービスタンの貯油量 (保有油 量)が8700以上であること	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタ ンク	○	○														○		○	○

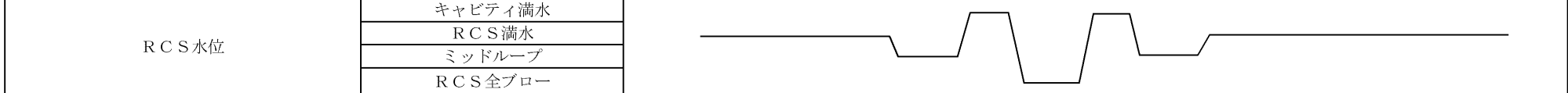
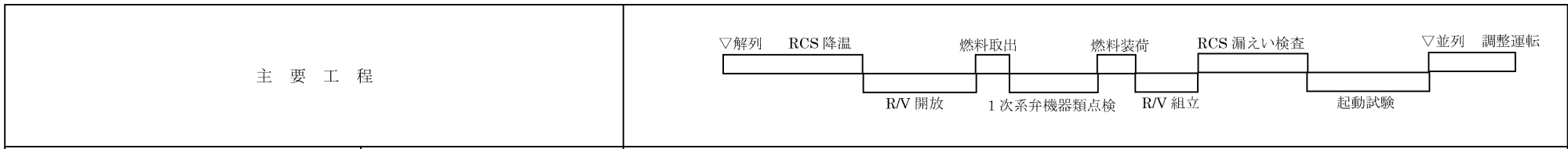
主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
電源供給 (続き)	第73条 ディーゼル発電機	モード3及び4 以外	・ディーゼル発電機2基が動作可能であること ・上記のディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンの貯油量(保有油量)が870ℓ以上であること	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタック																	
	第74条 ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油及び始動用空気	モード3、4、5、6及びモード外	所要のディーゼル発電機の燃料油貯油そう等の油量、潤滑油タンクの油量及び始動用空気だめ圧力が以下の制限値内にあること ・燃料油貯油そう等(保有油量):255ℓ以上 ・潤滑油タンク(保有油量):4,480ℓ以上 ・始動用空気だめ圧力:2.45MPa[gage]以上	・燃料油貯油そう等 ・潤滑油タンク ・始動用空気だめ																	
	第75条 非常用直流電源	モード3及び4	・2系統(蓄電池(安全防護系用)及び充電器)が動作可能であること	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池																	
	第76条 非常用直流電源	モード5、6及び照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池(安全防護系用)及び充電器)が動作可能であること	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池							△										
	第77条 所内非常用母線	モード3及び4	・次の所内非常用母線が受電していること 2つの非常用高圧母線 2つの非常用低圧母線 2つの非常用直流母線 4つの非常用計装用母線	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計装用母線																	
	第78条 所内非常用母線	モード5、6及び照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電していること 非常用高圧母線 非常用低圧母線 非常用直流母線 非常用計装用母線	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計装用母線							△										
海水系統他	第66条 原子炉補機冷却水系	モード3及び4	・2系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却水系																	
	自主保安 原子炉補機冷却水系	モード5、6及びモード外	・負荷に応じた必要系統以上が動作可能であること	・原子炉補機冷却水系																	
	第67条 原子炉補機冷却海水系	モード3及び4	・2系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却海水系																	
	自主保安 原子炉補機冷却海水系	モード5、6及びモード外	・負荷に応じた必要系統以上が動作可能であること	・原子炉補機冷却海水系																	
その他	第33条 計測及び制御設備(中央制御室非常用循環系計装)	モード3、4及び使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系作動論理回路: 所要の中央制御室非常用循環系につき2系統 ・(中央制御室非常用循環系) 手動起動: 所要の中央制御室非常用循環系につき2チャンネル	・中央制御室非常用循環系作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン																	
		モード3及び4	・(中央制御室非常用循環系) 非常用炉心冷却系作動	—																	

主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	運転モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
その他(続き)	第33条 計測及び制御設備(中央制御室外原子炉停止装置)	モード3	・中央制御室外原子炉停止装置 ほう酸ポンプ 加圧器圧力計	・中央制御室外原子炉停止装置	○															○	
		モード3及び4	・充てん/高圧注入ポンプ 抽出オリフィス隔離弁 海水ポンプ 原子炉補機冷却水ポンプ 加圧器後備ヒータ 電動補助給水ポンプ 蒸気発生器広域水位計 蒸気ライン圧力計 加圧器水位計 中性子束計(中性子源領域) 1次冷却材圧力計(広域) 1次冷却材温度計(広域)(低温側)	—	○	○											○			○	○
		モード4	・余熱除去ポンプ	—		○											○			○	
	第35条 1次冷却材の温度・圧力及び1次冷却材温度変化率	通常の1次冷却系の加熱・冷却時(モード3、4及び5)	・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内にあること ・1次冷却材温度変化率(原子炉容器):55°C/h以下 ・1次冷却材温度変化率(加圧器)加熱率:55°C/h以下 ・1次冷却材温度変化率(加圧器)冷却率:110°C/h以下	—	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○
	第42条 加圧器	モード3	・加圧器の水位が計器スパンの94%以下であること ・所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能であること	・加圧器ヒータ	○																○
	第43条 加圧器安全弁	モード3及び4 (1次冷却材温度が140°Cを超える場合)	・全てが動作可能であること	・加圧器安全弁	○	△											△		△	○	
	第44条 加圧器逃がし弁	モード3	・加圧器逃がし弁及び加圧器逃がし弁元弁の全てが動作可能であること	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁	○																○
	第45条 低温過加圧防護	モード4(1次冷却材温度が140°C以下)、5及び6(原子炉容器のふたが閉められている場合)	・2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器逃がし弁元弁が開状態であること 又は ・1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること 及び ・動作可能な充てん/高圧注入ポンプが1台以下であること 及び ・蓄圧タンク全基が隔離されていること	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁 ・加圧器安全弁 ・充てん/高圧注入ポンプ ・蓄圧タンク			△	○	○	△				△	○	○	△	○	△		
	第46条 1次冷却材漏えい率	モード3及び4	・原子炉格納容器内への漏えい率 0.23m³/h以下(未確認の漏えい率) ・原子炉格納容器内への漏えい率 2.3m³/h以下(原子炉冷却材圧力バウンダリ以外からの漏えい率) ・原子炉格納容器サンプ水位計が動作可能であること	・原子炉冷却材圧力バウンダリ ・原子炉格納容器サンプ水位計	○	○											○			○	○

主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
その他(続き)	第68条 制御用空気系	モード3及び4	・制御用空気圧力0.53MPa〔gage〕以上	・制御用空気系	○	○										○		○	○		
	第69条 中央制御室非常用循環系	モード3、4及び使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室当たり2系統が動作可能であること	・中央制御室非常用循環系 ・中央制御室空調系	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	○		
	第70条 安全補機室空気浄化系	モード3及び4	・2系統が動作可能であること	・安全補機室空気浄化系	○	○										○		○	○		
重大事故等対処設備	第83条(表83-3) 1次系フィードアンドブリードによる炉心冷却系	モード3及び4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・高圧注入系の2系統以上が動作可能であること ・加圧器逃がし弁2台による1次冷却系統の減圧系が動作可能であること	・充てん/高圧注入ポンプ ・加圧器逃がし弁	○	△										△		△	○		
	第83条(表83-4) 非常用炉心冷却系	モード3、4、5及び6	・高圧注入系の1系統以上が動作可能であること ・低圧注入系の1系統以上が動作可能であること	・充てん/高圧注入ポンプ ・余熱除去ポンプ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-4) 充てん注入系	モード3、4、5及び6	・B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)による充てん注入系が動作可能であること	・B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-4) 代替炉心注入系	モード3、4、5及び6	・可搬型電動低圧注入ポンプ(可搬型電動ポンプ用発電機含む)又は可搬型ディーゼル注入ポンプによる代替炉心注入系2系統が動作可能であること	・可搬型電動低圧注入ポンプ ・可搬型電動ポンプ用発電機 ・可搬型ディーゼル注入ポンプ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-4) 代替再循環系	モード3、4、5及び6	・A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSSタイライン使用)による代替再循環系が動作可能であること ・B余熱除去ポンプ(海水冷却)及びC充てん/高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧再循環系、又はB余熱除去ポンプ(海水冷却)による低圧再循環系が動作可能であること	・A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSSタイライン使用) ・格納容器再循環ポンプ ・格納容器再循環ポンプスクリーン ・B余熱除去ポンプ(海水冷却) ・C充てん/高圧注入ポンプ(海水冷却)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-5) 窒素ポンベ及び可搬型バッテリーを使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧系	モード3	・窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)及び可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧系が動作可能であること	・窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用) ・可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)	○															○	

主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-6)原子炉格納容器スプレィ系	モード3、4、5及び6	・原子炉格納容器スプレィ系の1系統以上が動作可能であること	・格納容器スプレィポンプ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-6)代替原子炉格納容器スプレィ系	モード3、4、5及び6	・常設電動注入ポンプによる代替原子炉格納容器スプレィ系が動作可能であること	・常設電動注入ポンプ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-7)原子炉格納容器内自然対流冷却系	モード3、4、5及び6	・原子炉補機冷却水系による原子炉格納容器内自然対流冷却系が動作可能であること	・A、B格納容器再循環ユニット ・A、B原子炉補機冷却水ポンプ ・原子炉補機冷却水サージタンク ・窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用) ・A、B海水ポンプ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-7)移動式大容量ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系及び代替補機冷却系	モード3、4、5及び6	・移動式大容量ポンプ車による海水供給系2系統が動作可能であること	・移動式大容量ポンプ車	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-8)海水ポンプ又は復水タンクを水源とした補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系	モード3、4及び5(1次冷却系満水)	・モード3、4及び5(1次冷却系満水)において、A若しくはB海水ポンプ又は復水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統が動作可能であること 又は ・モード3において、A若しくはB海水ポンプ又は復水タンクを水源としたタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統が動作可能であること	・A、B海水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ蒸気入口弁(手動)	○	○	○								○	○	○	○	○		
	第83条(表83-9)主蒸気逃がし弁による蒸気放出系	モード3及び4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・主蒸気逃がし弁3個が手動での開弁ができること(現場手動含む)	・主蒸気逃がし弁	○	△										△		△	○		
	第83条(表83-10)水素濃度低減	モード3、4、5及び6	(1)静的触媒式水素再結合装置の所要数が動作可能であること (2)静的触媒式水素再結合装置動作監視装置の所要数が動作可能であること (3)電気式水素燃焼装置の所要数が動作可能であること (4)電気式水素燃焼装置動作監視装置の所要数が動作可能であること	・静的触媒式水素再結合装置 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・電気式水素燃焼装置 ・電気式水素燃焼装置動作監視装置	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	

主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-10) 水素濃度監視	モード3、4、5及び6	・可搬型格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系1系統が動作可能であること	・可搬型格納容器水素濃度計測装置 ・可搬型ガスサンプリング冷却器用冷却ポンプ ・可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置 ・A ガスサンプリング圧縮装置 ・窒素ポンペ (事故後サンプリング設備 弁用)		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-11) 水素排出、放射性物質の濃度低減	モード3、4、5及び6	・Bアニュラス空気浄化系が動作可能であること ・代替空気(窒素)系統が動作可能であること	・Bアニュラス空気浄化ファン ・Bアニュラス空気浄化系フィルタユニット ・窒素ポンペ (アニュラス空気浄化ファン 弁用)		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-12) 使用済燃料ピット 補給用水中ポンプによる使用済燃料ピットへの注水系	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・使用済燃料ピット補給用水中ポンプによる使用済燃料ピットへの注水系が動作可能であること	・使用済燃料ピット補給用水中ポンプ ・使用済燃料ピット及び復水タンク補給用水中ポンプ用発電機		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-12) 使用済燃料ピットへのスプレイ系	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋外に配備する設備について2系統が動作可能であること ・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋内に配備する設備について1系統が動作可能であること	・可搬型電動低圧注入ポンプ(可搬型電動ポンプ用発電機含む)又は可搬型ディーゼル注入ポンプ ・使用済燃料ピットスプレイヘッダ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-12) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・動作可能な設備が所要数を満足していること	・使用済燃料ピット水位計(SA) ・使用済燃料ピット温度計(SA) ・使用済燃料ピット状態監視カメラ ・使用済燃料ピット水位計(広域)(使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム含む) ・使用済燃料ピット周辺線量率計		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○



項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																	
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3			
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-13)原子炉格納容器及びアニュラス部への放水 燃料取扱建屋(使用済燃料ピット内燃料体等)への放水 航空機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・1号炉及び2号炉において移動式大容量ポンプ車及び放水砲による放水系1系統が動作可能であること	・移動式大容量ポンプ車 ・放水砲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-13)海洋への拡散抑制	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・所要数が使用可能であること	・放射性物質吸着剤 ・シルトフェンス ・小型船舶	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-14)宮山池又は海水(取水ピット、取水口)から中間受槽への供給	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・取水用水中ポンプ等による中間受槽への供給系2系統が動作可能であること	・中間受槽 ・取水用水中ポンプ ・取水用水中ポンプ用発電機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-14)中間受槽から復水タンクへの供給	モード3、4、5及び6	・復水タンク補給用水中ポンプ等による復水タンクへの供給系2系統が動作可能であること	・復水タンク補給用水中ポンプ ・使用済燃料ピット及び復水タンク補給用水中ポンプ用発電機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-14)燃料取替用水タンク(有効水量)	モード3、4、5及び6(キャビティ低水位)	・1,677m ³ 以上であること	・燃料取替用水タンク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-14)復水タンク(有効水量)	モード3、4、5及び6	・640m ³ 以上であること	・復水タンク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-15)大容量空冷式発電機からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・大容量空冷式発電機による電源系1系統が動作可能であること ・大容量空冷式発電機用燃料タンクの油量が20kl以上あること	・大容量空冷式発電機 ・大容量空冷式発電機用給油ポンプ ・大容量空冷式発電機用燃料タンク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-15)号炉間電力融通ケーブル(予備ケーブル(号炉間電力融通用))からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・号炉間電力融通ケーブルによる電源系1系統が使用可能であること ・予備ケーブル(号炉間電力融通用)による電源系1系統が使用可能であること	・号炉間電力融通ケーブル ・予備ケーブル(号炉間電力融通用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-15)発電機車(中容量発電機車又は高圧発電機車)からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・発電機車(中容量発電機車又は高圧発電機車)による電源系2系統が動作可能であること	・発電機車(中容量発電機車又は高圧発電機車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

主要工程																						
RCS水位																						
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																	
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3			
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-15)蓄電池(安全防護系用)、蓄電池(重大事故等対処用)及び蓄電池(3系統目)からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池(安全防護系用)からの電源系1系統が動作可能であること 蓄電池(重大事故等対処用)からの電源系1系統が動作可能であること 蓄電池(3系統目)からの電源系1系統が動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池(安全防護系用) 蓄電池(重大事故等対処用) 蓄電池(3系統目) 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-15)直流電源用発電機及び可搬型直流変換器からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 直流電源用発電機及び可搬型直流変換器からの電源系2系統が動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 直流電源用発電機 可搬型直流変換器 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-15)代替所内電気設備(重大事故等対処用変圧器受電盤、重大事故等対処用変圧器盤、大容量空冷式発電機)からの給電	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 所要数が使用可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処用変圧器受電盤 重大事故等対処用変圧器盤 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-15)代替所内電気設備(発電機車(中容量発電機車又は高圧発電機車)、変圧器車及び可搬型分電盤)からの給電	モード3(1次冷却材圧力が6.89MPa [gage]を超える場合)	<ul style="list-style-type: none"> 所要数が使用可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器車 可搬型分電盤 	△															△		
	第83条(表83-15)燃料油貯蔵タンク、タンクローリによる燃料補給設備	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量が294kl以上あること タンクローリの所要数が使用可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク タンクローリ 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-16)計装設備	モード3、4、5及び6	<ul style="list-style-type: none"> 表83-16に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材高温側温度(広域) 1次冷却材低温側温度(広域) 1次冷却材圧力 加圧器水位 ほう酸注入ライン流量 補助注入ライン流量 余熱除去ループ流量 SA用低圧炉心注入及びスプレイ積算流量 A格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 格納容器内温度 格納容器圧力 AM用格納容器圧力 格納容器再循環サンブ広域水位 	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

主要工程																					
RCS水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-16)計装設備(続き)	モード3、4、5及び6	・表83-16に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器再循環サンブ狭域水位 原子炉下部キャビティ水位 原子炉格納容器水位 格納容器水素濃度 格納容器内高レンジエリアモニタB(高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタA(低レンジ) 中性子源領域中性子束 原子炉補機冷却水サージタンク水位 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA) 蒸気ライン圧力 蒸気発生器狭域水位 蒸気発生器広域水位 補助給水流量 燃料取替用水タンク水位 復水タンク水位 ほう酸タンク水位 		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-16)可搬型計測器	モード3、4、5及び6	・表83-16に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	・可搬型計測器		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-16)記録機能	モード3、4、5及び6	・表83-16に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型温度計測装置 SPDSデータ表示装置 緊急時運転パラメータ伝送システム(SPDS) 		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-17)中央制御室非常用循環系居住性確保設備 汚染の持ち込み防止設備	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室当たり中央制御室非常用循環系1系統以上が動作可能であること 可搬型照明(SA)、酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調ファン 中央制御室循環ファン 中央制御室非常用循環フィルタユニット 可搬型照明(SA) 酸素濃度計 二酸化炭素濃度計 		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	

主要工程																							
RCS水位																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																		
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3				
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-18)放射性物質の濃度及び放射線量の測定	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・表83-18に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングステーション及びモニタリングポスト ・可搬型モニタリングポスト ・可搬型エアモニタ ・可搬型よう素サンプラ ・可搬型ダストサンプラ ・NaIシンチレーションサーベイメータ ・GM汚染サーベイメータ ・ZnSシンチレーションサーベイメータ ・β線サーベイメータ ・電離箱サーベイメータ 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-18)風向、風速その他の気象条件の測定	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・表83-18に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型気象観測装置 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第83条(表83-19)緊急時対策所用発電機車 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所用発電機車による電源系が動作可能であること ・緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ1台が動作可能であること ・緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンクの油量が73kℓ以上あること 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所用発電機車 ・緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ ・緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83条(表83-19)緊急時対策所非常用空気浄化系 緊急時対策所加圧設備 居住性確保設備	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所非常用空気浄化系1系統以上が動作可能であること ・緊急時対策所加圧設備が使用可能であること ・酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能であること ・緊急時対策所エアモニタの所要数が動作可能であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所非常用空気浄化ファン ・緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット ・空気ポンプ(緊急時対策所用) ・酸素濃度計 ・二酸化炭素濃度計 ・緊急時対策所エアモニタ 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



項 目	保安規定条文	要求モード	要求内容	運転モード																
				関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
特定重大事故等 対処施設(続き)		モード3、4、 5及び6			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
		モード3、4、 5及び6			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
		モード3、4、 5及び6			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
		モード3、4、 5及び6			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	

主 要 工 程																				
RCS水位			キャビティ満水																	
			RCS満水																	
			ミッドループ																	
			RCS全ブロー																	
項 目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード															
特定重大事故等 対処施設(続き)		モード3、4、 5及び6			3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
		モード3、4、 5及び6			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

主 要 工 程																					
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																			
項 目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	運転モード																
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動																					

本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、作業工程等の変更により計画の変更が生じる可能性があるが、仮に変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

〈記載例〉

- : 機能要求あり
- : 機能要求あり (要求モードにおける条件付)
- : 機能要求なし

※なお、上記「○」、「△」においても、要求除外となる場合がある。詳細は原子炉施設保安規定を参照。

川内原子力発電所

第1号機

計画期間中における点検の実施状況等 (第27保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

- ① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備
 - a. 定期事業者検査の対象となる設備
 - b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備^{*1}（事後保全を実施する資機材等を除く）
- ② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備を含む。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{*2}の点検等）については、「川内原子力発電所 保守基準」及び「川内原子力発電所 土木建築基準」に基づき策定している。

なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備又は特定重大事故等対処施設に記載している。

※2：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「川内原子力発電所 保守基準」及び「川内原子力発電所 土木建築基準」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記している。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」^{※3}又は「F」^{※3}により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「川内原子力発電所 保守基準」に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」^{※4}、「プラント運転中」^{※4}の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」^{※4}に実施することとしている。

ただし、「プラント運転中」の記載については、運転計画によって実施時期が異なることがある。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第27保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるため、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/129
原子炉本体（原子炉容器）	1/129
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/129
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	2/129
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	2/129
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	3/129
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	6/129
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	14/129
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	17/129
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	23/129
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	31/129
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	43/129
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	46/129
計測制御系統施設（制御材）	47/129
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	47/129
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	47/127
計測制御系統施設（制御用空気設備）	50/129
計測制御系統施設（その他設備）	53/129
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	55/129
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	55/129
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	72/129
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	72/129
放射線管理施設（換気設備）	73/129
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	83/129
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	84/129
原子炉施設（その他設備）	93/129
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	96/129
蒸気タービン（調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	97/129
蒸気タービン（復水器）	100/129
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	100/129
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	102/129
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	111/129
その他発電用原子炉の附属施設（補助ボイラー）	112/129
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	114/129
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	120/129
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	121/129

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	123/129
火災防護設備（その他設備）	123/129
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	128/129
浸水防護設備（その他設備）	128/129
非常用取水設備（取水設備）	128/129
土木建築設備	129/129
プラント総合全般機器	129/129
竜巻防護設備	129/129
緊急時対策所	129/129

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/18
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/18
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	2/18
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	6/18
計測制御系統施設（計測装置）	6/18
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	7/18
計測制御系統施設（制御用空気設備）	7/18
計測制御系統施設（その他設備）	8/18
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	8/18
放射線管理施設（換気設備）	8/18
原子炉格納施設（圧力低減設備）	12/18
原子炉施設（その他設備）	13/18
非常用電源設備	13/18
火災防護設備（消火設備）	18/18
緊急時対策所	18/18

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	1/13
計測制御系統施設（計測装置）	2/13
計測制御系統施設（制御用空気設備）	3/13
計測制御系統施設（その他設備）	4/13
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	4/13
放射線管理施設（換気設備）	4/13
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	5/13
原子炉施設（その他設備）	8/13
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	9/13
火災防護設備（消火設備）	12/13
火災防護設備（その他設備）	12/13
浸水防護施設（内郭浸水防護設備）	12/13
浸水防護施設（その他設備）	12/13
土木建築設備	13/13

4. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検

5. 長期施設管理方針に基づく点検計画

- 別紙－1 クラス1 機器、Ni 基合金溶接部（供用期間中検査対象）
- 別紙－2 クラス2 機器（供用期間中検査対象）
- 別紙－3 クラス2 管（原子炉格納容器内）のうち
一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）
- 別紙－4 重大事故等クラス1 機器（供用期間中検査対象）
- 別紙－5 重大事故等クラス2 機器（供用期間中検査対象）
- 別紙－6 重大事故等クラス3 機器（供用期間中検査対象）

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	2 6	SN1-2 燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	2 6		※：炉心設計による
	燃料集合体 157体	外観点検	高	1C	○	2 6	SN1-3 燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. パーナブルボイズン 3. プラギングデバイス 4. 2次中性子源 } 1式※							
原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-81 炉物理検査	定検起動後	
					2 6	SN1-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後	
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器	開放点検	高	13M	○	2 6		
	炉心支持構造物(制御棒クラスタ案内管支持ピン)	非破壊試験	高	3C	○	2 4		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	2 6		一部プラント運転中
	燃料移送装置制御設備	装置点検	高	1C	○	2 6		一部プラント運転中
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	2 6		
	燃料取替クレーン制御設備	装置点検	高	1C	○	2 6		
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M	○	2 6		一部プラント運転中
	使用済燃料ピットクレーン制御設備	装置点検	高	1C	○	2 6		一部プラント運転中
	新燃料取扱クレーン	分解点検	低	—	—	2 1		クレーン休止中
	新燃料取扱クレーン制御設備	装置点検	低	—	—	2 1		クレーン休止中
	新燃料エレベータ	分解点検	低	13M	○	2 6		一部プラント運転中
	新燃料エレベータ制御設備	装置点検	低	1C	○	2 6		一部プラント運転中
	燃料取扱建屋クレーン	分解点検	低	1Y	○	2 0 2 2年度		プラント運転中
	燃料取扱建屋クレーン制御設備	装置点検	低	1F	○	2 0 2 2年度		プラント運転中
	1. 燃料移送装置(リフティングフレーム) 2. 燃料取替クレーン(ホイスト, グリッパ) 3. 使用済燃料ピットクレーン (No. 1ホイスト, No. 2ホイスト)	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱建屋クレーン	機能・性能試験	低	1C	○	2 6	SN1-75 燃料取扱設備検査	
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	4. 新燃料エレベータ 5. 燃料取扱建屋クレーン		低					
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 制御棒取替装置	外観点検	低	1C	○	2 6	SN1-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	1号 原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1号 燃料取替用チャンネル	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1号 キャスクピット	外観点検	高	1C	○	2 6		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化・冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	26	SN1-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット他含む
	1 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2022年度		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	—	2020年度		
	1 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	26		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	—	2020年度		
	1 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	○	2019年度		
	1 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	26		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	○	2019年度		
	1 C 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2022年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2022年度		
	1 C 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	26		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2022年度		
	1号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2021年度		
	1号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	1 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
	1 C 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2021年度		プラント運転中
	1 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2022年度		プラント運転中
	1号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2021年度		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	26		
1 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	26			
IV-SF-059 1号 SFP DW供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	—	SN1-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中 第26回定検で取替	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	1 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)
		分解点検		4Y	—	2022年度		
		機能・性能試験		4F	—	2022年度		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 A 燃料取替用水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		プラント運転中 (振動診断：切替毎)
		分解点検		3Y	○	2020年度		
	1 B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	2Y	○	2021年度	SN1-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断：切替毎)
		分解点検		4Y	—	2021年度		
		機能・性能試験		4F	—	2021年度		
	1 B 燃料取替用水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		プラント運転中 (振動診断：切替毎) 2021年度で取替
		分解点検		3Y	—	—		
	1号 燃料取替用水タンク基礎 1式（土木建築設備）	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1号 燃料取替用水補助タンク	開放点検	低	130M	—	2 3		
	1号 燃料取替用水タンク加熱器	開放点検	低	130M	—	2 2		
	IV-RF-016 1号 RWS T加熱器逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	IRFT1-A 1 A 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	
	IRFT1-B 1 B 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	
IRFT1-C 1 C 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-88 1次系真空破壊弁検査		
IRFT2-A 1 A 燃料取替用水補助タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-88 1次系真空破壊弁検査		
IRFT2-B 1 B 燃料取替用水補助タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-88 1次系真空破壊弁検査		
原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備)	1 A 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	2 6		
	1 B 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	2 6		
	1 C 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	2 6		
	1 A 蒸気発生器伝熱管 3, 386本	非破壊試験	高	26M	—	2 6	SN1-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1 B 蒸気発生器伝熱管 3, 386本	非破壊試験	高	26M	—	2 6	SN1-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1 C 蒸気発生器伝熱管 3, 386本	非破壊試験	高	26M	○	2 5	SN1-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1 A 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	2 2	SN1-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	2 6		一部定検起動後
	1 A 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 6		
		分解点検		52M	—	2 6		
		非破壊試験		52M	—	2 6		
	1 B 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	2 3	SN1-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	2 6		一部定検起動後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 B 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	2 6		
		分解点検		52M	○	2 3		
		非破壊試験		52M	○	2 3		
	1 C 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	2 4		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
	1 C 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	2 6		
		分解点検		52M	—	2 4		
		非破壊試験		52M	—	2 4		
	1 A 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	—	2 6	SN1-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1 B 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	○	2 5	SN1-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1 C 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	—	2 6	SN1-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	加圧器本体	開放点検	高	13M	○	2 6		
	炉内計装用シンプルチューブ 50本	非破壊試験	高	52M	○	2 3	SN1-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
	1V-RC-055 1号 加圧器A安全弁	分解点検	高	13M	○	2 6	SN1-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-8 加圧器安全弁機能検査	
	1V-RC-056 1号 加圧器B安全弁	分解点検	高	13M	○	2 6	SN1-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-8 加圧器安全弁機能検査	
	1V-RC-057 1号 加圧器C安全弁	分解点検	高	13M	○	2 6	SN1-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-9 加圧器安全弁漏えい検査	
機能・性能試験		1C		○	2 6	SN1-8 加圧器安全弁機能検査		
1-PCV-454C 1号 加圧器B逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 6			
	分解点検		13M	○	2 6	SN1-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-11 加圧器逃がし弁機能検査		
1-PCV-455 1号 加圧器A逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 6			
	分解点検		13M	○	2 6	SN1-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-11 加圧器逃がし弁機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1V-RC-054A 1号 加圧器A逃がし弁	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	65M	—	2 4	SN1-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		駆動部点検		130M	—	2 4		
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		1C	○	2 6		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	1V-RC-054B 1号 加圧器B逃がし弁	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN1-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		駆動部点検		130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 6		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	1-PCV-454A 1号 加圧器Aスプレイ弁	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	13M	○	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 5		
		分解点検		26M	○	2 5		
		機能・性能試験		2C	○	2 5		
	1-PCV-454B 1号 加圧器Bスプレイ弁	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	13M	○	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 6		
		分解点検		26M	—	2 6		
		機能・性能試験		2C	—	2 6		
	1V-RC-077 1号 P R Tガス分析ライン隔離弁 (内隔離弁)	駆動部点検	高	52M	○	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
1V-RC-078 1号 P R Tガス分析ライン隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
	分解点検		130M	—	2 1			
1V-RC-084 1号 加圧器逃がしタンク室素隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	1 7			
	分解点検		130M	○	1 7			
1V-RC-095 1号 加圧器逃がしタンク補給水隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	1 8			
	機能・性能試験		10C	—	1 8			
1V-RC-088 1号 加圧器逃がしタンク室素逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-87 1次系逆止弁検査		
加圧器ヒータ 1式	一般点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	2 6			
1V-BD-001A 1 A S/Gブローダウン第1隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	65M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-BD-001B 1 B S/Gブローダウン第1隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	65M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	IV-BD-001C 1 C S/Gブローダウン第1隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-BD-016A 1 A S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	IV-BD-016B 1 B S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-BD-016C 1 C S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 6		
		機能・性能試験		10C	—	2 6		
	IV-BD-033 1号 BD放射線計出口逃がし弁	取替	低	130M	—	—	SN1-86 1次系安全弁検査	第20回定検にて分解点検実施 第22回点検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
IV-BD-045 1号 BDタンク廃棄物処理系入口逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN1-87 1次系逆止弁検査		
IV-BD-003A 1 A S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 1			
IV-BD-003B 1 B S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 6			
	分解点検		130M	—	2 1			
IV-BD-003C 1 C S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 3			
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	I-PCV-3610 1 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査 SN1-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査 SN1-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN1-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		分解点検		13M	○	2 6		
		漏えい試験		1C	○	2 6		
		機能・性能試験		1C	○	2 6		
	I-PCV-3620 1 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査 SN1-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査 SN1-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN1-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		分解点検		13M	○	2 6		
		漏えい試験		1C	○	2 6		
		機能・性能試験		1C	○	2 6		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	1-PCV-3630 1 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3			
		分解点検		13M	○	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
		漏えい試験		1C	○	2 6	SN1-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN1-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	1-HCV-3615 1 A 主蒸気隔離弁バイパス弁(外隔離弁)	簡易点検(グランドベギン取替)	高	26M	○	2 5			
		駆動部点検		52M	○	2 3			
		分解点検		52M	○	2 3	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C	○	2 3			
	1-HCV-3625 1 B 主蒸気隔離弁バイパス弁(外隔離弁)	簡易点検(グランドベギン取替)	高	26M	○	2 5			
		駆動部点検		52M	—	2 5			
		分解点検		52M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C	—	2 5			
	1-HCV-3635 1 C 主蒸気隔離弁バイパス弁(外隔離弁)	簡易点検(グランドベギン取替)	高	26M	○	2 5			
		駆動部点検		52M	—	2 5			
		分解点検		52M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C	—	2 5			
	1V-MS-523A 1 A 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドベギン取替)	高	65M	—	2 6			
		駆動部点検		130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
電動機分解点検		130M		—	2 1				
1V-MS-523B 1 B 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドベギン取替)	高	65M	—	2 3				
	駆動部点検		130M	—	2 3				
	分解点検		130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	2 3				
	電動機分解点検		130M	—	2 3				
1V-MS-523C 1 C 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドベギン取替)	高	65M	—	2 6			第2 1回定検で駆動部取替	
	駆動部点検		130M	—	—				
	分解点検		130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	2 1				
	電動機分解点検		130M	—	2 2				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1V-MS-526A 1 A - 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-526B 1 B - 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-526C 1 C - 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第 2 6 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-527A 1 A - 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-527B 1 B - 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-527C 1 C - 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第 2 6 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-528A 1 A - 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-528B 1 B - 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	1V-MS-528C 1 C - 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第 2 6 回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
1V-MS-529A 1 A - 4 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第 2 7 回定検で取替	
	漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-MS-529B 1 B-4 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-529C 1 C-4 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第2 6回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-530A 1 A-5 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-530B 1 B-5 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-530C 1 C-5 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第2 6回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-531A 1 A-6 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-531B 1 B-6 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-531C 1 C-6 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第2 6回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
	IV-MS-532A 1 A-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替
		漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査	
IV-MS-532B 1 B-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 5		第2 7回定検で取替	
	漏えい試験		2C	—	2 5	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	—	2 6	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査		
IV-MS-532C 1 C-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	—		第2 6回定検で取替	
	漏えい試験		2C	—	—	SN1-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	—	SN1-25 主蒸気安全弁機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-MS-533A 1 A 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 5		
		分解点検		26M	○	2 5	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査	
	IV-MS-533B 1 B 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 5		
		分解点検		26M	○	2 5	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査	
	IV-MS-533C 1 C 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 5		
		分解点検		26M	—	2 6	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 6	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査	
	I-PCV-5085 1号 T/D AFWP 駆動用蒸気弁	簡易点検 (グランドベッキン取替)	高	26M	○	2 5		
		駆動部点検		52M	—	2 5		
		分解点検		52M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		4C	—	2 5		
	IV-MS-620A 1 A T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5		
		分解点検		130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
		電動機簡易点検		2C	○	2 5		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	IV-MS-620B 1 B T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5		
		分解点検		130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
電動機簡易点検		2C		○	2 5			
電動機分解点検		130M		—	2 5			
IV-MS-575A 1号 T/D AFWP A蒸気元弁	簡易点検 (グランドベッキン取替)	高	65M	—	2 3			
	駆動部点検		130M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 3			
	電動機簡易点検		2C	○	2 6			
	電動機分解点検		143M	○	1 6			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-MS-575B 1号 T/D AFWP B蒸気元弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	第2 5回定検で電動機取替
		駆動部点検		130M	—	2 5		
		分解点検		130M	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
		電動機簡易点検		2C	○	—		
		電動機分解点検		143M	—	—		
	IV-MS-583A 1 A 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	52M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	—	2 6		
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-MS-583B 1 B 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	52M	○	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-MS-583C 1 C 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	52M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	—	2 4		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	IV-MS-584A 1 A C/V出口主蒸気管ドレン元弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	第2 1回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	IV-MS-584B 1 B C/V出口主蒸気管ドレン元弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	第2 1回定検で駆動部取替
駆動部点検		130M		—	—			
分解点検		130M		—	2 1			
機能・性能試験		10C		—	2 1			
電動機分解点検		130M		—	2 3			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1V-MS-588A 1 A 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁 (外隔離弁)	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	1V-MS-588B 1 B 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁 (外隔離弁)	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	65M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	第21回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	1V-MS-588C 1 C 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁 (外隔離弁)	簡易点検 (ケラントパッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	タービンバイパス弁 8個	機能・性能試験	低	1C	○	2 6	SN1-62 タービンバイパス弁機能検査	
	1-TCV-500A 1 A タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 5		
		分解点検		13M	○	2 6		
	1-TCV-500B 1 B タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 5		
		分解点検		13M	○	2 6		
1-TCV-500C 1 C タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 6			
	簡易点検 (ケラントパッキン取替)		13M	○	2 6			
	分解点検		52M	—	2 6			
1-TCV-500D 1 D タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 4			
	簡易点検 (ケラントパッキン取替)		13M	○	2 6			
	分解点検		52M	—	2 4			
1-TCV-500E 1 E タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 6			
	簡易点検 (ケラントパッキン取替)		13M	○	2 6			
	分解点検		52M	—	2 6			
1-TCV-500F 1 F タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 4			
	簡易点検 (ケラントパッキン取替)		13M	○	2 6			
	分解点検		52M	—	2 4			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
I-TCV-500G 1 G タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M	○	2 3		
		簡易点検 (パランドパック取替)		13M	○	2 6		
		分解点検		52M	○	2 3		
I-TCV-500H 1 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M	○	2 3		
		簡易点検 (パランドパック取替)		13M	○	2 6		
		分解点検		52M	○	2 3		
IV-MS-536A 1 A 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	2 6		
IV-MS-536B 1 B 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	2 6		
IV-MS-536C 1 C 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	○	2 5		
IV-MS-576A 1 A T/D AFWP蒸気逆止弁		分解点検	高	52M	—	2 4		
IV-MS-576B 1 B T/D AFWP蒸気逆止弁		分解点検	高	52M	—	2 4		
IV-FW-520A 1 A 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (パランドパック取替)	高	39M	○	2 4	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
		電動機分解点検		143M	—	2 1		
IV-FW-520B 1 B 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (パランドパック取替)	高	39M	○	2 6	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	○	1 7		
		分解点検		130M	○	1 7		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
IV-FW-520C 1 C 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (パランドパック取替)	高	39M	○	2 4	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
		電動機分解点検		143M	—	1 8		
I-FCV-460 1 A 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M	—	2 6		
		分解点検		13M	○	2 6		
I-FCV-470 1 B 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M	—	2 6		
		分解点検		13M	○	2 6		
I-FCV-480 1 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M	—	2 6		
		分解点検		13M	○	2 6		
I-FCV-461 1 A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	2 5		
		分解点検		—	—	2 5		
I-FCV-471 1 B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	○	2 3		
		分解点検		○	2 3			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1-FCV-481 1 C 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	52M	—	2 4		
		分解点検			—	2 4		
原子炉冷却系統施設 (余熱除去設備)	1 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	2 5		
	1 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	2 6		
	1 A 余熱除去ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	—	2 6	SN1-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	1 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 6		
	1 B 余熱除去ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	—	2 4	SN1-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	1 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 5		
	1V-RH-021A 1 A RHR S-CH/S I ポンプ連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5		
		分解点検		130M	—	2 5		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	1V-RH-021B 1 B RHR S-CH/S I ポンプ連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4		
		分解点検		130M	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	1-HCV-603 1 A RHR クーラ出口流量制御弁	簡易点検 (ゲランド'パ'ッキン取替)	高	65M	—	2 5		SN1-85 1次系弁検査
		駆動部点検		130M	—	2 5		
分解点検		130M		—	2 5			
機能・性能試験		10C		—	2 5			
1-FCV-604 1 A RHR クーラバイパス流量制御弁	簡易点検 (ゲランド'パ'ッキン取替)	高	65M	—	2 5		SN1-85 1次系弁検査	
	駆動部点検		130M	—	2 5			
	分解点検		130M	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			
1-HCV-613 1 B RHR クーラ出口流量制御弁	簡易点検 (ゲランド'パ'ッキン取替)	高	65M	—	2 4		SN1-85 1次系弁検査	
	駆動部点検		130M	—	2 4			
	分解点検		130M	—	2 4			
	機能・性能試験		10C	—	2 4			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1-FCV-614 1 B R H R クーラバイパス流量制御弁	簡易点検 (ガランドパッキン取替)	高	65M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 4		
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	1V-RH-001A 1 A R H R S 入口隔離弁	駆動部点検	高	104M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		104M	—	2 6		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	1V-RH-001B 1 B R H R S 入口隔離弁	駆動部点検	高	104M	—	2 0	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		104M	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 2		
	1V-RH-003A 1 A R H R S 入口弁 (内隔離弁)	簡易点検 (ガランドパッキン取替)	高	52M	○	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		駆動部点検		104M	○	2 3		
		分解点検		104M	○	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	1V-RH-003B 1 B R H R S 入口弁 (内隔離弁)	簡易点検 (ガランドパッキン取替)	高	52M	○	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		駆動部点検		104M	○	1 9		
		分解点検		104M	○	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	1V-RH-024A 1 A R H R クーラ出口連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	2 6		
		分解点検		130M	—	2 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 5		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	1V-RH-024B 1 B R H R クーラ出口連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4		
		分解点検		130M	—	2 4		
		電動機簡易点検		2C	—	2 6		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	1-FCV-601 1 A R H R ポンプミナマフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
機能・性能試験		10C		—	2 5			
電動機分解点検		130M		—	2 5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1-FCV-611 1 B RHR ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	1V-RH-020A 1 A RHR S-CVCS 抽出弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	1V-RH-020B 1 B RHR S-CVCS 抽出弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	1V-RH-034 AM用代替再循環ライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 6		
	1V-RH-005A 1 A RHR S 入口逃がし弁	分解点検	高	130M	○	1 7	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	1 7		
		機能・性能試験		10C	○	1 7		
	1V-RH-005B 1 B RHR S 入口逃がし弁	分解点検	高	130M	○	1 7	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	1 7		
機能・性能試験		10C		○	1 7			
1V-RH-025A 1 A RHR S 低温側注入配管逃がし弁	分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			
1V-RH-025B 1 B RHR S 低温側注入配管逃がし弁	分解点検	高	130M	—	2 4	SN1-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 4			
	機能・性能試験		10C	—	2 4			
1V-RH-010A 1 A RHR ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 8			
1V-RH-010B 1 B RHR ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 6			
1V-RH-033A 1 A RHR ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
	分解点検		130M	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-RH-033B 1 B RHR ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	IV-RH-035 AM用代替再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 1		
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	高圧及び低圧注入系 充てん/高圧注入ポンプ：3台 余熱除去ポンプ：2台 モード切替弁：3 8個 蓄圧注入系 蓄圧タンク：3基	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-16 非常用炉心冷却系機能検査	
	1 A 充てん/高圧注入ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	○	2 4		
	1 A 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	2 3		
	1 B 充てん/高圧注入ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 5		
	1 B 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 4		
	1 C 充てん/高圧注入ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 6		
	1 C 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 6		
	1号 蓄圧タンク充てんポンプ	簡易点検 (油入替他)	低	39M	—	2 5		蓄圧タンク開放時に実施
		分解点検		78M	—	2 2		
	1号 蓄圧タンク充てんポンプ用電動機	分解点検	低	78M	—	2 5		
	ほう酸注入タンク	開放点検	高	130M	—	2 1		
	1 A 蓄圧タンク	開放点検	高	65M	—	2 4		
	1 B 蓄圧タンク	開放点検	高	65M	○	2 2		
	1 C 蓄圧タンク	開放点検	高	65M	—	2 5		
	1 A 格納容器再循環サンプル	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1 B 格納容器再循環サンプル	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1 A 格納容器再循環サンプルスクリーン	外観点検	高	1C	○	2 6		
	1 B 格納容器再循環サンプルスクリーン	外観点検	高	1C	○	2 6		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	IV-SI-023A 1号 ほう酸注入タンクA入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		130M	—	2 1	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	2 1			
	IV-SI-023B 1号 ほう酸注入タンクB入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	2 1			
	IV-SI-042A 1号 ほう酸注入タンクA出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	2 5			
	IV-SI-042B 1号 ほう酸注入タンクB出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	2 5			
	IV-SI-082 1号 高温側高圧補助注入弁（ほう酸注入タンク側）	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		65M	—	2 4			
		電動機分解点検		130M	—	2 4			
	IV-SI-094 1号 低温側高圧補助注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 9			
		分解点検		65M	—	2 5			
		電動機分解点検		130M	—	2 3			
	IV-SI-101 1号 高温側高圧補助注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
		分解点検		65M	—	2 4			
		電動機分解点検		130M	—	2 3			
	IV-SI-301 1号高温側高圧補助注入弁（ほう酸注入タンク側）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—			第2 1回定検で設置
		分解点検		65M	—	2 6			
		電動機分解点検		130M	—	—			
IV-SI-302 1号低温側高圧補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—			第2 1回定検で設置	
	分解点検		65M	—	2 5				
	電動機分解点検		130M	—	—				
IV-SI-303 1号高温側高圧補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—			第2 1回定検で設置	
	分解点検		65M	—	2 5				
	電動機分解点検		130M	—	—				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-SI-191A 1 A 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
		電動機簡易点検		2C	○	2 5		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-SI-191B 1 B 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
		電動機簡易点検		2C	○	2 5		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-SI-193A 1 A R H R S C/V再循環弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 6		
		分解点検		130M	—	2 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 6		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
IV-SI-193B 1 B R H R S C/V再循環弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 6			
	分解点検		130M	—	2 6			
	電動機簡易点検		2C	○	2 6			
	電動機分解点検		143M	○	1 6			
IV-SI-197A 1 A 低温側低圧注入弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 5			
	分解点検		130M	—	2 5			
	電動機分解点検		130M	—	2 5			
IV-SI-197B 1 B 低温側低圧注入弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 4			
	分解点検		130M	—	2 4			
	電動機分解点検		130M	—	2 4			
IV-SI-206 1号 高温側低圧注入弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
	分解点検		130M	—	2 1			
	電動機分解点検		130M	—	2 2			
IV-SI-132A 1 A 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 3			
	電動機分解点検		130M	—	2 3			
IV-SI-132B 1 B 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 5			
	電動機分解点検		130M	—	2 5			
IV-SI-132C 1 C 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 4			
	電動機分解点検		130M	—	2 4			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
IV-SI-143 1号 蓄圧タンクテストライン隔離弁 (内隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
IV-SI-144 1号 蓄圧タンクテストライン隔離弁 (外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
IV-SI-165 1号 蓄圧タンクN2ライン隔離弁 (外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 6		
		分解点検		130M	—	2 6		
IV-SI-048A 1 A ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-048B 1 B ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-048C 1 C ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-087A 1 A 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-087B 1 B 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-087C 1 C 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-088 1号 Aループ高温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-099A 1 A 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-099B 1 B 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-099C 1 C 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-106A 1 A 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 0	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-106B 1 B 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 1	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-106C 1 C 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 0	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-133A 1 A 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
IV-SI-133B 1 B 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
IV-SI-133C 1 C 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 9	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
IV-SI-134A 1 A 蓄圧タンク出口第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 8	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-134B 1 B 蓄圧タンク出口第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 1	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-134C 1 C 蓄圧タンク出口第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
IV-SI-135A 1 A 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
IV-SI-135B 1 B 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
IV-SI-135C 1 C 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 9	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
IV-SI-136A 1 A 蓄圧タンク出口第2逆止弁		分解点検	高	65M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-136B 1 B 蓄圧タンク出口第2逆止弁		分解点検	高	65M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-136C 1 C 蓄圧タンク出口第2逆止弁		分解点検	高	65M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-202A 1号 Aループ低温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-202B 1号 Bループ低温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-202C 1号 Cループ低温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-203A 1号 Aループ低温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-203B 1号 Bループ低温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-203C 1号 Cループ低温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-208A 1号 Cループ高温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-208B 1号 Bループ高温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	1 7	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-209A 1号 Cループ高温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-209B 1号 Bループ高温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	2 3	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
IV-SI-007 1号 蓄圧タンク充てんポンプ出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	1 8	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
IV-SI-041 1号 ほう酸注入ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
IV-SI-169 1号 蓄圧タンクN ₂ ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
IV-SI-172A 1 A 蓄圧タンク安全弁		分解点検	高	130M	—	2 1	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
IV-SI-172B 1 B 蓄圧タンク安全弁		分解点検	高	130M	—	2 4	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
IV-SI-172C 1 C 蓄圧タンク安全弁		分解点検	高	130M	—	2 4	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
IV-SI-204 1号 高温側低圧注入ライン逃がし弁		分解点検	高	130M	—	2 1	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
IV-SI-001 1号 RWS T-CH/S I 供給ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 8		
IV-SI-024 1号 ほう酸注入タンク循環ライン入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
IV-SI-038 1号 ほう酸注入タンク循環ライン第1出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
IV-SI-039 1号 ほう酸注入タンク循環ライン第2出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
IV-SI-140A 1 A 蓄圧タンク充てん弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
IV-SI-140B 1 B 蓄圧タンク充てん弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	1 9		
IV-SI-140C 1 C 蓄圧タンク充てん弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	2 1		
IV-SI-170A 1 A 蓄圧タンクN ₂ 供給弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
IV-SI-170B 1 B 蓄圧タンクN ₂ 供給弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-SI-170C 1 C 蓄圧タンク N ₂ 供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9		
	IV-SI-192A 1 A RHR 供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 1		
	IV-SI-192B 1 B RHR 供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 0		
	IV-SI-196A 1 A RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 5		
	IV-SI-196B 1 B RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 8		
	IV-SI-199A 1 A 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 8		
	IV-SI-199B 1 B 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	1号 燃料取替用水タンク	開放点検	高	130M	—	2 4		
	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備)	化学体積制御系	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-138 化学体積制御系機能検査
体積制御タンク		開放点検	高	130M	—	2 2		
1号 1次系薬品タンク		外観点検	低	1C	○	2 6		
非再生冷却器		開放点検	高	130M	—	2 1		
余剰抽出冷却器		開放点検	高	130M	—	2 0		
再生熱交換器		外観点検	高	1C	○	2 6		
封水冷却器		開放点検	高	130M	—	2 5		
冷却材フィルタ		開放点検	高	26M	—	2 6		
1 A 封水注入フィルタ		開放点検	高	39M	—	2 6		
1 B 封水注入フィルタ		開放点検	高	39M	○	2 4		
封水フィルタ		開放点検	高	26M	—	2 6		
1 A 冷却材混床式脱塩塔		外観点検	高	1C	○	2 6		
1 B 冷却材混床式脱塩塔		外観点検	高	1C	○	2 6		
冷却材陽イオン脱塩塔		外観点検	高	1C	○	2 6		
1 A ほう酸除去脱塩塔		外観点検	高	1C	○	2 6		
1 B ほう酸除去脱塩塔		外観点検	高	1C	○	2 6		
IV-CS-004A 1 A 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	○	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M	○	2 1		
IV-CS-004B 1 B 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	○	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M	○	2 1		
IV-CS-004C 1 C 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	○	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M	○	2 1		
IV-CS-007 1号 抽出オリフィス出口隔離弁 (外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CS-219 1号 充てんライン第2隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	IV-CS-270A 1A RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
	IV-CS-270B 1B RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-CS-270C 1C RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
	IV-CS-275A 1A RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-275B 1B RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-275C 1C RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	○	—	SN1-85 1次系弁検査	第2回定検より追加
	IV-CS-276A 1A RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-276B 1B RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-276C 1C RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	○	—	SN1-85 1次系弁検査	第2回定検より追加
IV-CS-308 1号 RCP封水戻りライン第1隔離弁 (内隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 3	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M	—	2 1			
IV-CS-310 1号 RCP封水戻りライン第2隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2			
	分解点検		130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M	—	2 4			
I-FCV-138 1号 充てん流量調節弁	駆動部点検	高	65M	○	2 2			
	分解点検		13M	○	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 6			
I-FCV-140 1号 封水注入流量調節弁	駆動部点検	高	65M	○	2 2			
	分解点検		13M	○	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 6			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	I-HCV-102 1号 低圧抽出流量制御弁	簡易点検 (ケラントベッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	I-HCV-108 1号 冷却材陽イオン脱塩塔流量制御弁	簡易点検 (ケラントベッキン取替)	高	65M	○	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	I-HCV-190 1号 余剰抽出流量制御弁	駆動部点検	高	65M	○	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	I-LCV-121A 1号 体積制御タンク入口3方弁	簡易点検 (ケラントベッキン取替)	高	78M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		143M	—	2 1		
		分解点検		143M	—	2 1		
		機能・性能試験		11C	—	2 1		
	I-LCV-121B 1号 体積制御タンク第1出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	I-LCV-121C 1号 体積制御タンク第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	I-LCV-121D 1号 CH/S 1ポンプB非常用補給弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	I-LCV-121E 1号 CH/S 1ポンプA非常用補給弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
電動機分解点検		130M		—	1 8			
I-LCV-451 1号 加压器水位第1制御弁	駆動部点検	高	52M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		39M	—	2 5			
	機能・性能試験		3C	—	2 5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	I-LCV-452 1号 加圧器水位第2制御弁	駆動部点検	高	52M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		39M	—	2 5		
		機能・性能試験		3C	—	2 5		
	I-PCV-104 1号 抽出ライン圧力調節弁	駆動部点検	高	65M	○	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		13M	○	2 6		
		機能・性能試験		1C	○	2 6		
	I-TCV-104 1号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	簡易点検 (ケラントベッキン取替)	高	78M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	○	2 2		
		分解点検		143M	—	2 1		
		機能・性能試験		11C	—	2 1		
	IV-CS-043A 1 A 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	IV-CS-043B 1 B 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	IV-CS-048A 1 A 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CS-048B 1 B 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CS-052 1号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CS-057 1号 冷却材陽イオン脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CS-078 1号 ほう酸除去脱塩塔バイパス3方弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
機能・性能試験		10C		—	2 1			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CS-152A 1 A, 1 B CH/S I ポンプ入口ヘッド第 1 弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	IV-CS-152B 1 B, 1 C CH/S I ポンプ入口ヘッド第 1 弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	IV-CS-153A 1 A, 1 B CH/S I ポンプ入口ヘッド第 2 弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	IV-CS-153B 1 B, 1 C CH/S I ポンプ入口ヘッド第 2 弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 2		
	IV-CS-161A 1 A CH/S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	—	2 4		
	IV-CS-161B 1 B CH/S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		143M	—	2 2		
	IV-CS-161C 1 C CH/S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
IV-CS-162 1 号 CH/S I ポンプミニマムフロー元弁	駆動部点検	高	143M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査		
	分解点検		143M	—	2 1			
	機能・性能試験		11C	—	2 1			
	電動機分解点検		130M	—	2 1			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
IV-CS-165A 1 A, 1 B CH/S I ポンプ出口ヘッド第 1 弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	—	1 8		
IV-CS-165B 1 B, 1 C CH/S I ポンプ出口ヘッド第 1 弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
IV-CS-166A 1 A, 1 B CH/S I ポンプ出口ヘッド第 2 弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
		電動機分解点検		143M	—	1 8		
IV-CS-166B 1 B, 1 C CH/S I ポンプ出口ヘッド第 2 弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
IV-CS-213 1 号 充てん流量調節補助弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-218 1 号 充てんライン第 1 隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
IV-CS-225 1 号 加圧器補助スプレイ弁		簡易点検 (ベローズ点検)	高	39M	○	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		駆動部点検		65M	○	2 2		
		分解点検		65M	—	2 4		
		機能・性能試験		5C	—	2 4		
IV-CS-226 1 号 加圧器補助スプレイ逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1 次系弁検査	
IV-CS-227 1 号 C ループ充てん弁		簡易点検 (ベローズ点検)	高	39M	○	2 4	SN1-85 1 次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 6		
		分解点検		65M	—	2 4		
		機能・性能試験		5C	—	2 4		
IV-CS-228 1 号 C ループ充てん第 1 逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1 次系弁検査	
IV-CS-229 1 号 C ループ充てん第 2 逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 6	SN1-85 1 次系弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
IV-CS-301 1号 余剰抽出第1隔離弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	52M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		簡易点検（ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾊﾞｯｼﾞﾝ取替）		78M	—	2 2		
		駆動部点検		65M	○	2 2		
		分解点検		143M	—	2 1		
		機能・性能試験		11C	—	2 1		
IV-CS-302 1号 余剰抽出第2隔離弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		簡易点検（ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾊﾞｯｼﾞﾝ取替）		65M	○	2 2		
		駆動部点検		52M	—	2 6		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-305 1号 余剰抽出ライン3方弁		駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
IV-CS-352A 1 A ほう酸除去脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-352B 1 B ほう酸除去脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-359A 1 A ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-359B 1 B ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-005 1号 抽出オリフィス出口逃がし弁		分解点検	高	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-024 1号 抽出ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-121 1号 体積制御タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
IV-CS-170A 1 A C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-170B 1 B C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
IV-CS-283 1号 R C P パージ水ヘッドタンク逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
IV-CS-306 1号 R C P 封水戻りライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
IV-CS-321 1号 封水冷却器管側入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 6	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 6		
		機能・性能試験		10C	—	2 6		
IV-CS-127 1号 体積制御タンクガス供給逆止弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-87 1 次系逆止弁検査	
IV-CS-121 1号 体積制御タンク安全弁前破壊板		分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-89 1 次系破壊板検査	
IV-CS-041 1号 冷却材混床式脱塩塔入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 5		
IV-CS-090 1号 体積制御タンク入口逆止弁		分解点検	高	143M	○	2 0		
IV-CS-151 1号 体積制御タンク出口逆止弁		分解点検	高	143M	○	2 0		
IV-CS-160A 1 A C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-160B 1 B C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-160C 1 C C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-163A 1 A C H / S 1 ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-163B 1 B C H / S 1 ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-163C 1 C C H / S 1 ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
IV-CS-221 1号 充てんライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 5		
IV-CS-232 1号 C ループ充てんラインバイパス逆止弁		分解点検	高	78M	—	2 2		
IV-CS-251 1号 R C P 封水注入流量調節補助弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検			—	2 2		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	IV-CS-290A 1 A R C P N o. 1 シール出口弁	簡易点検 (ベローズ点検)	高	39M	—	2 5			
		簡易点検 (グランドパッキン取替)		65M	○	2 2			
		駆動部点検		65M	○	2 2			
		分解点検		104M	—	2 2			
	IV-CS-290B 1 B R C P N o. 1 シール出口弁	簡易点検 (ベローズ点検)	高	39M	—	2 5			
		簡易点検 (グランドパッキン取替)		65M	○	2 2			
		駆動部点検		65M	○	2 2			
		分解点検		104M	—	2 2			
	IV-CS-290C 1 C R C P N o. 1 シール出口弁	簡易点検 (ベローズ点検)	高	39M	—	2 5			
		簡易点検 (グランドパッキン取替)		65M	○	2 2			
		駆動部点検		65M	○	2 2			
		分解点検		104M	—	2 2			
IV-CS-300 1号 R C P N o. 1 シールバイパス弁	駆動部点検	高	65M	○	2 2				
	分解点検		130M	—	2 2				
IV-CS-774 1号 CH/S 1 ポンプ入口ベントライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査			
	分解点検		130M	—	2 2				
	機能・性能試験		10C	—	2 2				
IV-CS-775A 1号 CH/S 1 ポンプ入口ベントライン第2-A隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査			
	分解点検		130M	—	2 2				
	機能・性能試験		10C	—	2 2				
IV-CS-775B 1号 CH/S 1 ポンプ入口ベントライン第2-B隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査			
	分解点検		130M	—	2 2				
	機能・性能試験		10C	—	2 2				
IV-CS-775C 1号 CH/S 1 ポンプ入口ベントライン第2-C隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査			
	分解点検		130M	—	2 2				
	機能・性能試験		10C	—	2 2				
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	原子炉補機冷却水系 弁 10 個	機能・性能試験	高	1C	○	2 6	SN1-15 原子炉補機冷却系機能検査		
		1 A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 6		
			分解点検		52M	—	2 4		
	機能・性能試験	4C	—		2 4	SN1-84 1次系ポンプ機能検査			
	1 A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断: 切替毎)	
		普通点検		39M	—	2 5			
		分解点検		78M	—	2 5			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	2 5		
		機能・性能試験		4C	—	2 5		
	1 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断:切替毎)
		普通点検		39M	—	2 5		
		分解点検		78M	—	2 5		
	1 C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	2 6		
		機能・性能試験		4C	—	2 6		
	1 C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断:切替毎)
		普通点検		39M	—	2 6		
		分解点検		78M	—	2 6		
	1 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 6	SN1-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	2 3		
		機能・性能試験		4C	○	2 3		
	1 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 6		(振動診断:切替毎)
		普通点検		39M	—	2 6		
		分解点検		78M	—	2 6		
	1 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(防食亜鉛板取替他)	高	13M	○	2 6	SN1-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	○	2 5		
		非破壊試験		65M	—	2 3		
1 B 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(防食亜鉛板取替他)	高	13M	○	2 6	SN1-92 1次系熱交換器検査		
	開放点検		26M	○	2 5			
	非破壊試験		65M	—	2 6			
1 C 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(防食亜鉛板取替他)	高	13M	○	2 6	SN1-92 1次系熱交換器検査		
	開放点検		26M	—	2 6			
	非破壊試験		65M	—	2 4			
1 D 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(防食亜鉛板取替他)	高	13M	○	2 6	SN1-92 1次系熱交換器検査		
	開放点検		26M	—	2 6			
	非破壊試験		65M	○	2 2			
1号 原子炉補機冷却水サージタンク		開放点検	高	65M	○	2 2		
ICCT1-V-3 1号 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁		取替	低	130M	—	2 2	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-192A 1 A, 1 B C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	IV-CC-192B 1 C, 1 D C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	IV-CC-199A 1 A C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	IV-CC-199B 1 B C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 5		
	IV-CC-199C 1 C C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	IV-CC-199D 1 D C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	2 1	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	IV-CC-482 1号 C R D M冷却水入口弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
IV-CC-489A 1号 C R D M冷却水A出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	機能・性能試験		10C	—	2 2			
	電動機分解点検		143M	○	1 6			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-489B 1号 C R D M冷却水B出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		143M	○	1 6		
	IV-CC-503 1号 余剰抽出冷却器冷却水第2入口弁	駆動部点検	高	130M	○	2 1	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
	IV-CC-509 1号 余剰抽出冷却器冷却水第1出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
	IV-CC-521 1号 R C P冷却水第1入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 6		
IV-CC-523 1号 R C P冷却水第2入口弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 6			
IV-CC-544 1号 R C P冷却水第1出口弁 (内隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	電動機分解点検		143M	○	1 6			
IV-CC-546 1号 R C P冷却水第2出口弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 6			
IV-CC-706 1号 冷却材ドレン冷却器冷却水隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
I-PCV-1202 1号 補機冷却水サージタンクN ₂ 供給圧力制御弁	駆動部点検	低	130M	—	2 2	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	機能・性能試験		10C	—	2 2			
I-RCV-056 1号 補機冷却水サージタンクベント弁	駆動部点検	低	130M	—	2 6	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 6			
	機能・性能試験		10C	—	2 6			
I-TCV-103 1号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	駆動部点検	低	65M	○	2 2	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		143M	—	2 1			
	機能・性能試験		11C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-042 1号 補機冷却水戻りCヘッド止弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	IV-CC-064 1号 補機冷却水供給Cヘッド止弁	駆動部点検	高	130M	—	2 4	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
		電動機分解点検		130M	—	2 4		
	IV-CC-171A 1号 SFP冷却器冷却水供給Aヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-CC-171B 1号 SFP冷却器冷却水供給Bヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
		電動機分解点検		143M	—	1 9		
	IV-CC-180A 1号 SFP冷却器冷却水戻りAヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-CC-180B 1号 SFP冷却器冷却水戻りBヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
		電動機分解点検		143M	—	1 9		
	IV-CC-228A 1 A 余熱除去冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
IV-CC-228B 1 B 余熱除去冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			
	電動機分解点検		143M	—	1 9			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-248A 1 A スプレイ冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		143M	—	1 7		
	IV-CC-248B 1 B スプレイ冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 5	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
		電動機分解点検		143M	—	1 9		
	IV-CC-006 1号 補機冷却水サージタンク安全弁	分解点検	低	130M	—	2 6	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 6		
		機能・性能試験		10C	—	2 6		
	IV-CC-164A 1 A 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
漏えい試験		10C		—	2 2			
機能・性能試験		10C		—	2 2			
IV-CC-164B 1 B 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 2			
	機能・性能試験		10C	—	2 2			
IV-CC-164C 1 C 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	—	SN1-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検にて分解点検実施 第2 2回点検より点検項目変更	
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
IV-CC-164D 1 D 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	—	SN1-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検にて分解点検実施 第2 2回点検より点検項目変更	
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
IV-CC-177A 1 A ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 3			
	機能・性能試験		10C	—	2 3			
IV-CC-177B 1 B ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			
IV-CC-177C 1 C ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 3			
	機能・性能試験		10C	—	2 3			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-185A 1 A、B 主蒸気給水貫通孔冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-185B 1 C 主蒸気給水貫通孔冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-196A 1 A C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	—	SN1-86 1 次系安全弁検査	第2 2 回定検にて取替 第2 3 回点検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-196B 1 B C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	—	SN1-86 1 次系安全弁検査	第2 2 回定検にて取替 第2 3 回点検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-196C 1 C C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 6	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 6		
		機能・性能試験		10C	—	2 6		
	IV-CC-196D 1 D C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-214A 1 A 制御用空気圧縮機冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-214B 1 B 制御用空気圧縮機冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-226A 1 A 余熱除去冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
IV-CC-226B 1 B 余熱除去冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			
IV-CC-238A 1 A 余熱除去ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 3			
	機能・性能試験		10C	—	2 3			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-238B 1 B 余熱除去ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-246A 1 A スプレイ冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-246B 1 B スプレイ冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-258A 1 A スプレイポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-258B 1 B スプレイポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-291A 1 A CH/S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-291B 1 B CH/S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 4	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	IV-CC-291C 1 C CH/S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 5		
		機能・性能試験		10C	—	2 5		
	IV-CC-294A 1 A CH/S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3		
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
	IV-CC-294B 1 B CH/S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 4	SN1-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
IV-CC-294C 1 C CH/S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 5	SN1-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 5			
	機能・性能試験		10C	—	2 5			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-323 AM用窒素マニホールド出口ライン安全弁	分解点検	低	130M	○	2 1	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
	IV-CC-382 1 A 廃液蒸発装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-385 1 A 廃液蒸発装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-390 1 A 廃液蒸発装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-397 1 B 廃液蒸発装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-400 1 B 廃液蒸発装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-405 1 B 廃液蒸発装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-432 1号 ほう酸回収装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-435 1号 ほう酸回収装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-440 1号 ほう酸回収装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-452 洗浄排水装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-455 洗浄排水装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-460 洗浄排水装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-487A 1号 CRDM冷却水A逃がし弁	取替	低	130M	—	2 6	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 6		
		機能・性能試験		10C	—	2 6		
	IV-CC-487B 1号 CRDM冷却水B逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-508 1号 余剰抽出冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	—	SN1-86 1次系安全弁検査	第2 2回定検にて取替 第2 3回点検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-527 1号 RCP冷却水入口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 2	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	IV-CC-538A 1 A RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	IV-CC-538B 1 B RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		
	IV-CC-538C 1 C RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 4	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 4		
		機能・性能試験		10C	—	2 4		